

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2021年10月21日(木)15:30～17:15

懇談会

※話題の内容は予定ですので、変更する場合がございます。

1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長) —

2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長) —

3. 特別展 「ユニバーサル・ミュージアム —— さわる!“触”の大博覧会」

関連イベント及び書籍の紹介

特別展「ユニバーサル・ミュージアム —— さわる!“触”の大博覧会」に関連するイベントや書籍についてご紹介します。

●研究公演 「身体で聴く『土の音』——触れて打つ、揺らして抜ける」

日 時 2021年11月13日(土) 13:30～15:15

参加方法 会場参加 みんなインテリジェントホール(講堂)(定員160名)

オンライン(ライブ配信)(定員300名)

※要事前申込、先着順、参加無料(会場参加は要展示観覧券)

[詳しくはこちら](#)

●絵本『てんじつきさわるえほん 音にさわる——はるなつあきふゆをたのしむ「手」』

(広瀬浩二郎:作 日比野尚子:絵/偕成社)

[詳しくはこちら](#)



— 広瀬 浩二郎 (学術資源研究開発センター 准教授) —

4. 館員の受賞「第36回大同生命地域研究奨励賞」受賞について

[詳しくはこちら](#)

当館教員3名が、公益財団法人 大同生命国際文化基金の設ける「大同生命地域研究奨励賞」を受賞しました。受賞内容と最新の研究成果等について、各教員よりご紹介します。

— 上羽 陽子（人類文明誌研究部 准教授） —

— 小野 林太郎（学術資源研究開発センター 准教授） —

— 川瀬 慈（人類基礎理論研究部 准教授） —

[詳しくはこちら](#)

5. 公開講演会「流動化する家族のかたち——少子高齢社会を文化人類学から考える」

本講演会では、ヨーロッパと南アジアで、少子化や高齢化と向き合っている現代家族の輪郭が変動的であることに注目し、家族のかたちが流動化しつつあることについて考えます。産み・育て・食べさせ・世話し・介護する、生存の空間としての家族の、現代世界におけるあり方について考えていきます。同じ観点から、感染症や震災に直面した家族に起こっていることについて討論します。

日 時：2021年11月12日（金）18：30—20：40（開場17：30）

会 場：日経ホール（東京都千代田区大手町1-3-7日経ビル3F）

主 催：国立民族学博物館、日本経済新聞社

定 員：300名（要事前申込み／先着順）

参加費：無料



— 松尾 瑞穂（超域フィールド科学研究部 准教授） —

『中東・イスラーム世界への30の扉』

(西尾哲夫、東長靖 編著／ミネルヴァ書房)



— 西尾 哲夫 (グローバル現象研究部 教授) —

『躍動するインド世界の布』

(上羽陽子、金谷美和 編／昭和堂)



— 上羽 陽子 (人類文明誌研究部 准教授) —

※その他の配布資料 外来研究員受入一覧(資料6)



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報・IR係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp